

平成22年7月6日
会社名 ユニオンツール株式会社
代表者名 代表取締役社長 片山 貴雄
(コード番号 6278 東証第一部)
問合せ先 常務取締役 田口 秀雄
(電話 03-5493-1001)

各 位

**(訂正)「平成22年11月期第2四半期累計期間業績予想値と実績値との
差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」の一部訂正について
のお知らせ**

本日公開の「平成22年11月期第2四半期累計期間業績予想値と実績値との差異及び通期業績
予想の修正に関するお知らせ」において、上場会社名等が漏れておりましたので、新ためて訂
正し提出するものであります。

なお、内容についての変更はありません。

訂正後の公開資料を次ページ以降に掲載いたします。

以 上



平成22年7月6日
会社名 ユニオンツール株式会社
代表者名 代表取締役社長 片山 貴雄
(コード番号 6278 東証第一部)
問合せ先 常務取締役 田口 秀雄
(電話 03-5493-1001)

各 位

平成22年11月期第2四半期累計期間業績予想値と実績値との差異 及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成22年1月15日に公表した平成22年11月期第2四半期累計期間（平成21年12月1日から平成22年5月31日まで）の業績予想と実績値との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、通期業績予想についても修正いたしますので、併せてお知らせいたします。

記

1. 第2四半期累計期間業績予想値と実績値との差異

平成22年11月期第2四半期連結業績予想値と実績値との差異（平成21年12月1日から平成22年5月31日まで）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想値(A)	10,070	912	945	695	31.12
実績値(B)	9,638	1,344	1,499	1,007	45.06
増減額(B-A)	△431	432	554	311	-
増減率(%)	△4.3	47.3	58.7	44.8	-
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成21年11月期第2四半期)	6,840	△492	△635	△675	△30.44

平成22年11月期第2四半期個別業績予想値と実績値との差異（平成21年12月1日から平成22年5月31日まで）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想値(A)	7,611	476	537	323	14.49
実績値(B)	7,086	1,197	1,353	842	37.71
増減額(B-A)	△525	720	815	518	-
増減率(%)	△6.9	151.1	151.6	160.2	-
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成21年11月期第2四半期)	4,344	△802	△645	△617	△27.83

2. 通期業績予想の修正

平成22年11月期通期連結業績予想値の修正（平成21年12月1日から平成22年11月30日まで）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想値(A)	21,890	2,766	2,859	1,965	87.96
今回発表予想(B)	20,102	2,765	3,031	1,962	87.81
増減額(B-A)	△1,788	△1	171	△3	-
増減率(%)	△8.2	△0.0	6.0	△0.2	-
(ご参考)前期実績 (平成21年11月期)	16,352	497	398	163	7.32

平成22年11月期通期個別業績予想値の修正（平成21年12月1日から平成22年11月30日まで）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想値(A)	16,015	1,565	1,698	1,031	46.14
今回発表予想(B)	15,028	2,299	2,556	1,633	73.08
増減額(B-A)	△986	733	858	602	-
増減率(%)	△6.2	46.9	50.6	58.4	-
(ご参考)前期実績 (平成21年11月期)	11,664	93	350	161	7.22

3. 第2四半期累計期間業績予想値と実績値との差異及び通期業績予想修正の理由

- ・第2四半期累計期間業績予想値と実績値との間に差異が生じた理由

売上高については、概ね想定通りの推移となりました。当社グループに関連深い電子機器工業界は、ようやく落ち着きを取戻しつつあり、底堅い中国需要と合わせて回復基調となっております。

利益面では、原価低減・効率改善が奏功しつつあることと、単価下落が引続き厳しいものの想定に比べて緩やかだったことから、予想を上回るものとなりました。

- ・通期業績予想の修正について

当社グループの営業環境は、引続き先行き不透明であり、予断を許さぬ状況にあると思っております。新製品の開発・投入、効率改善・原価低減、中国ビジネスの強化などを進めており、一層の企業体質の強化を図る所存であります。

今回の業績予想の修正につきましては、売上高についての修正が大きくなっております。これは、上記の通り当第2四半期累計期間において予想未達が生じていること、下期の出だしが想定に比べ力強さに欠けること、および換算為替レートの円高修正を行なったことによります。

利益については、減収の中、効率改善・原価低減が定着しつつあることから見通しを変えるものではありませんでした。なお、個別業績予想値の利益項目修正が大きくなってはいますが、これは、堅調な日本市場の回復のみならず、グループ内取引や内部消去額の見込み違いがあったことが原因であります。

以 上